



写真／第43回全国白川ダム湖畔マラソン大会で
ゲストランナーとゴールを目指す様子

町の生活情報紙
— IIDE PUBLIC RELATIONS —



広報 いいで

2025 June
Vol. 1179

6月号

Contents

- ◎町内5地区のまちづくりセンターを紹介します
- ◎町地域福祉計画・町地域福祉活動計画を策定
- ◎空き家について考える

プロモーション
映像



facebook



HP



LINE



町内 5 地区の まちづくりセンターを紹介します



飯豊町では、5地区のまちづくりセンターがそれぞれ地域の特色を生かしながら、まちづくりの拠点として、地域づくりと生涯学習の推進に取り組んでいます。“まちづくり”は住民が主体となり、住民同士が関わり合い、住みよい郷土を作っていくことです。ぜひ皆さんからもまちづくりの提案をいただき、共に地域を盛り上げていきましょう。

ここでは、令和7年度の事業計画から主なものを抜粋して紹介します。ほかにも幅広い年齢層に合わせたさまざまな事業を計画しています。人々が集い、楽しく学び、縁を結ぶ、学びと地域づくりの場として、ぜひまちづくりセンターをご利用ください。



各地区まちづくりセンターの最新情報はホームページから



中部地区

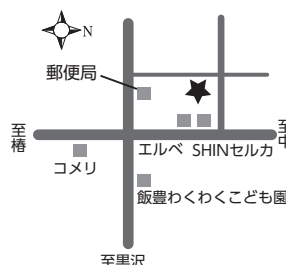
【スタッフ】



まちづくりセンター長
木村勝男（左から2番目）
地域活動推進員
巻坂駿（左から）
嶋貫恵
まちづくりセンター主事
佐藤克宣

【連絡先】

大字萩生3548
TEL 72-2126
FAX 72-3550
tyuubuko@e.jan.ne.jp



【主な事業計画】

対 象	事業名 〈時期〉	目的・内容
小・中学生	青少年教育 〈年間〉	心豊かで「郷土愛」を育み、心身の健康とチャレンジする気持ちを大事にし、育成会活動を通して地域・世代間交流を支援
女性	婦人教室 〈年間〉	「よく学び・よく遊び」をモットーに、楽しい仲間づくりと教養を高め、ボランティア活動を通じ、子どもたちとの交流を支援
地区住民	地区文化祭	作品展示や芸能発表など各種団体の日頃の活動を披露していただき、広く地区住民が地域の文化・芸術への親しみを深める場とする
長生会	しろあと教室 〈年間〉	「心豊かに、健やかに」をモットーに仲間作りを意識し、色々な事業に積極的に参加する

白樺地区

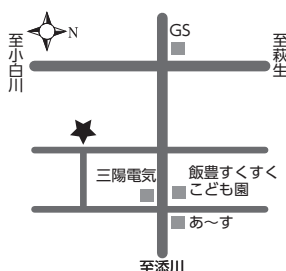
【スタッフ】



まちづくりセンター長
鈴木廣志（左から3番目）
地域活動推進員
長沼文明（左から）
樋口友理
まちづくりセンター主事
横澤剛

【連絡先】

大字樺1902-4
TEL 72-2242
FAX 72-3551
tubakiko@e.jan.ne.jp



【主な事業計画】

対 象	事業名 〈時期〉	目的・内容
小・中学生	青少年教育 〈年間〉	地域学校協働活動と連携し、地域の皆さんとともに多様な学び、体験を通じて豊かな人間性を育む支援を実施
地区住民	社会体育 〈6月・9月・11月〉	地区内ウォーキングコースを活用した健康づくりで町民1人1スポーツの推進と新規レクリエーション（ニュースポーツ）の体験教室を開催
地区住民	地域交流 〈年間〉	地域コミュニティの拡大と強化を図るため、地区住民の交流の場、学びの場としてまちづくりセンターの利用促進と学習支援に取り組む
地区住民	芸術文化 〈10月・1月〉	文化活動の発表の場として「展示と交流」の白樺文化祭と白樺新春川柳大会を開催し、住民参加の機会拡大と内容の充実を図る

東部地区

【スタッフ】



まちづくりセンター長
小松一芳（左から1番目）
地域活動推進員
草刈幸一（左から）
遠藤節子
まちづくりセンター主事
渡部尋斗

心身ともに健康で豊かな人間性を育み、学ぶことを通して生きがいを見出し、探究心と創造性を持って地域課題や生活課題の解決に向けた地域づくりを進める拠点としてのまちづくりセンターを目指します

【連絡先】

大字添川2955
TEL 74-2447
FAX 87-0447
toubuko@e.jan.ne.jp



【主な事業計画】

対象	事業名 〈時期〉	目的・内容
小学生	青少年育成	子ども会育成会と連携し、自然の家を活用した自然体験「東部少年キャンプ」を実施。そば打ち体験教室を開催し、食文化のすばらしさを学ぶ。地域学校協働活動と連携し、多様な学びの場づくりを支援
地区住民	社会体育 〈6・10・2月〉	ピラティスなどを通じ、心身ともに健全な体づくりの開催。グラウンドゴルフ大会や新規レクリエーションの体験教室を開催する
地区住民	地域交流 〈8・10月〉	地域コミュニティの拡大と強化を図るため、地区住民の絆をつなぐ「添川温泉ふるさと祭り」「添川小・地区合同大運動会」の開催
地区住民	芸術文化 〈10月〉	「読書」と「音楽」を楽しむ活動を推進するとともに、「東部の魅力川柳大会」「東部の魅力フォトコンテスト」を開催し、文化祭における作品発表など住民参加の機会拡大と内容の充実を図る

西部地区

【スタッフ】

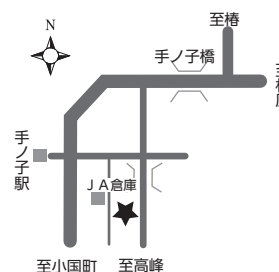


まちづくりセンター長
高橋孝（左から2番目）
地域活動推進員
大城由美（左から）
嶋貫正昭
まちづくりセンター主事
嶋貫大地

地域づくりの拠点施設として、各種団体の支援を図ります。また、少子高齢化に伴い人口減少が進む中、地域のさまざまな諸課題に対応するまちづくりセンターの運営に努めます

【連絡先】

大字手ノ子2861-1
TEL 75-2111
FAX 75-2273
seibuko@e.jan.ne.jp



【主な事業計画】

対象	事業名 〈時期〉	目的・内容
高齢者 女性	ふるさと学 園・さわやか クラブ〈年間〉	主体的な社会参画と生涯学習のための活動から楽しい仲間作りをめざす。子どもたちとの交流では地域文化の伝承にも努める
地区住民	社会体育 〈年間〉	日常生活の中で気軽にスポーツに親しみ、グラウンドゴルフ大会などを通して、健康増進と交流を図る
地区住民	芸術文化	各団体・個人に発表の場を提供し、創作意欲、活動意欲を高めることで地域住民総参加のふるさと作りを目指す
地区住民	夕灯のつどい	まちづくりセンター駐車場、歩道にある雪を利用し雪灯籠を作り灯りをとます。各自宅で雪灯籠を作り、一斉に点火し西部地区を灯りでつなぐ

中津川地区

【スタッフ】

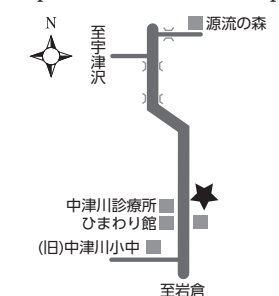


まちづくりセンター長
伊藤浩一郎（左から3番目）
地域活動推進員
金野やよい（左から）
中善寺一昭
まちづくりセンター主事
長岡寿恵

生活課題に応じた学習や個性・能力の発揮を支援し、地区住民の生きがいのある充実した生活づくりと、まちづくりセンターとして地域の各種団体の活動を支援します

【連絡先】

大字上原469
TEL 77-2020
FAX 77-2121
apurekou@e.jan.ne.jp



【主な事業計画】

対象	事業名 〈時期〉	目的・内容
小・中学生	中津川っ子 チャレンジク ラブ	七夕、秋の散策、クリスマス会など季節ごとの体験活動や、他地区の子どもたちや異世代との交流事業を実施する
地区住民	文化活動	地区文化週間を開催し、地区住民や子どもたちの作品展示・農産物展示即売会・映画会などを通して交流の機会を設ける
地区住民	健康増進	体力測定会、カラオケ大会、モルック体験会などを開催するほか、地区スポーツ協会主催の地区レクリエーション祭の開催に協力する
地区内団体	地域づくり 活動支援	むらづくり協議会や婦人会、寿クラブ、はてなの会など、地区内の各種団体の活動を事務的な部分で支援する

共につながり生きていく
孤立をつくらない地域づくり

第3次飯豊町地域福祉計画・ 飯豊町地域福祉活動計画を策定



◆計画の位置づけ

「地域福祉計画」は、町の最上位計画である第5次飯豊町総合計画の福祉分野における確実な実現を目指す「福祉の基本計画」としての位置付けとします。

「地域福祉計画」は地域福祉推進のための理念や体制をつくり、「地域福祉活動計画」はそれを実行するための住民の活動・行動のあり方を定めます。

◆計画期間

2025年度から2029年度までの5カ年とします。

基本目標3：住み続けたいと思える生活環境づくり

●地域住民に対する相談支援体制の整備

- ・民生委員児童委員の適正配置・相談実施体制の充実
- ・障がい者の地域生活支援拠点の整備

●必要な支援を適切に利用できる仕組みの確立

- ・障がいのある児童、生徒に対する合理的配慮の促進
- ・免許返納者および移動困難者に対する適切な交通サービスの提供
- ・ひとり親家庭への支援の充実・子育て支援サービスの推進

●権利擁護や成年後見制度の推進

- ・成年後見制度の利用のための支援強化および普及
- ・児童虐待の防止や対応に向けた体制などの整備

●防犯・防災に強いまちづくりの推進

- ・地域住民などとの協働による安全、安心なまちづくり
- ・避難行動要支援者支援制度の推進

基本目標4：支え合い・助け合う関係づくり

●保健・医療・福祉が連携した総合的なマネジメントの推進

- ・生活支援サービスの充実・身近な福祉総合相談窓口の設置
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
- ・自殺対策の推進とゲートキーパーの養成

●見守り・支援体制の充実

- ・見守り、助け合いネットワークづくり
- ・ひきこもり問題に関する相談支援（参加支援）
- ・子どもの貧困対策と子ども食堂事業の推進

●複合化した地域課題を解決するための体制づくり

- ・要援護者ニーズ把握
- ・地域福祉コーディネーターの育成、配置
- ・包括的な支援体制整備・空き家対策の強化
- ・飼い主とペットを取り巻く問題への対応

◆問合せ先

町健康福祉課福祉室 ☎86-2233
(社福) 飯豊町社会福祉協議会
☎72-3353



↑詳細はこちら



◆基本理念

今日の地域福祉を取り巻く環境は、人口減少、地域社会や経済活動の担い手不足などの社会環境の急速な変化に伴い、地域でのつながりの希薄化や人々の価値観およびライフスタイルの変化などを背景に、福祉ニーズが多様化しており、地域で課題を解決していくためには、住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら参加し、共生する地域社会の実現が求められています。

そのような中で、第2次計画では、子どもから高齢者まで、世代や性別を超えた交流と助け合いの中で、住民一人一人が支えたり、支えられたりの「おたがいさま」の心をもって、地域づくりに参加することを基本理念に掲げていました。新たな計画においてもその内容を踏襲し、既存の福祉施策のさらなる充実とともに、お互いの多様性を認め合い、お互いを思いやる福祉教育、悲しんでいる人、苦しんでいる人たちを助け合う福祉活動の推進を図ります。

また、一人一人が役割を持ち、地域や福祉への関心を高め、つながり、支え合うことで、住民が主役となって共に生きる「誰一人取り残さない地域共生社会の実現」を目指していきます。

スローガン 共につながり生きていく 孤立をつくらない地域づくり

基本目標1：思いやりの心と福祉を支える人づくり

(抜粋)

●福祉意識の醸成

- ・インクルーシブ（全ての人々が共生する）理念と福祉意識の啓発
- ・保健福祉に関する学びの場の提供
- ・福祉教育などの推進

●社会福祉分野および地域活動の担い手となる人材育成

- ・健康の自己管理に向けた普及啓発の充実と支援の強化
- ・在宅高齢者の食生活支援の担い手養成
- ・除雪支援の担い手育成・介護予防リーダーの養成
- ・認知症サポーターの養成

●ボランティアなどの社会福祉活動支援

- ・ボランティアセンター機能の充実、各種ボランティア養成、活動継続に向けた支援、除雪ボランティアへの支援
- ・住民向け福祉講座、シンポジウムなどの開催



▲除雪ボランティアの皆さん

基本目標2：安心を高める仕組みとサービスの基盤づくり

●地域の居場所・活躍の場づくり

- ・民生委員児童委員の活動支援
- ・老人クラブやサロン、いきいき百歳体操への活動支援
- ・地域住民などが集う交流拠点の整備、子どもの遊び場の確保

●地域活動団体や関係機関、行政などの多様な主体の連携・協働の仕組みづくり

- ・介護サービスの質の向上
- ・障がいのある方の就労後の支援体制の整備
- ・農業と福祉の連携による障がいのある方の社会参加の推進
- ・買い物弱者などへの支援・高齢者などの住の確保に関する支援
- ・生活支援サービスの体制整備
- ・家族介護者などへの支援
- ・冬期間の安全、安心な暮らしを実現するための除雪体制整備



▲家族介護教室の様子

空き家について考える

11 住み続けられるまちづくりを



画像はイメージです

空き家の現状

全国的に人口減少や核家族化、高齢化社会の進行に伴い、全国の空き家数は2023年の住宅・土地統計調査によると、約900万戸、空き家率は13.8%と過去最高を記録しています。空き家は管理されず放置されることで、建物の劣化や周辺の環境が悪化し、空き家を悪用した犯罪発生などの問題を引き起こす可能性があります。町では、2025年1月時点で273軒の空き家を確認しており、5年前に比べ約1.5倍に増加しています。

空き家の問題点・課題

管理が不十分な空き家は急速に劣化が進行し、雪による建物倒壊や落雪、屋根材や割れたガラスの飛散、小動物のすみかや害虫の繁殖などにより周辺住民の生活環境に悪影響をおよぼす恐れがあります。水道管の劣化による漏水や電気火災発生の懸念、犯罪への悪用など地域の安全をおびやかす可能性もあります。こうした事態の発生を防ぐため、空き家の所有者や管理者は適切に管理する責任があります。水道の閉栓や電源ブレーカーの遮断などの安全対策はもちろん、建物の定期的な確認や敷地内の草刈りなど、適正な管理をお願いします。

空き家バンクの活用を！

空き家の中には、十分に活用可能な空き家が多くあります。ぜひ、町の空

き家バンクを活用してみたいかがでしようか。リフォームが必要な状態や内部に家財が残った状態でも空き家バンクへの登録は可能です。町ホームページの空き家バンク案内（※1）をご確認ください。

活用困難な空き家は

解体・除却を！

老朽化で活用困難な空き家は、建物の倒壊や周辺の生活環境に悪影響をおよぼす危険性が高くなります。活用困難な空き家は、早い段階で解体・除却をお願いします。また、町ではAIを活用した解体費用の概算見積もりや解体後の土地の価値査定、空き家の迷惑度診断、解体後の土地の固定資産税シミュレーションなどを確認できるシステム（※2）を導入しています。解体検討のきっかけづくりとしてご活用ください。

町では老朽危険空き家などの解体支援事業として解体費用の補助（※3）を行っています。町ホームページの案内をご確認ください。



※1 空き家バンク



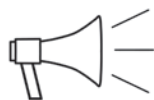
※2 各種シミュレーションシステム



※3 解体費用の補助



空き家に関するお知らせ



空き家を活用した拠点づくり

地域活性化の拠点とすることを目的に、空き家をリノベーションする方を支援します。ただし、10年以上地域活性化の拠点として活用する必要があります。

地域活性化の拠点とは、地域における経済活動・文化活動の動きを活発化させ、活気あるまちづくりを進める取り組みを行う場所のことで、具体的には以下のとおりです。

◆地域活性化の拠点（例）

- ・多世代交流、地域内外の人々のつながりづくりの場
- ・生涯学習の場
- ・町民活動、文化活動の場
- ・生業づくり、コワーキングの場
- ・関係人口の創出、町への移住者増につながる場
- ・カフェなどの飲食提供スペース など

◆補助対象事業経費

空き家の改修などに要する経費（消費税および地方消費税を除く）。空き家および土地の取得費は対象外です。

◆補助金の額

- ・補助対象経費の3分の2（千円未満切り捨て）
- ・上限は200万円

◆申請期限

6月30日(月)17:15

※詳細はホームページをご覧ください



空き家にしないために



ひとたび空き家になってしまうと、その後の空き家の維持・管理などの経済的な負担が大きくなってしまいます。町では、空き家になる前に自分の家の未来について家族で考えていただくことを目的として、「住まいのエンディングノート（国土交通省版）」を町ホームページに公開しています。お盆やお正月など、家族で家の終活について話し合ってみてはいかがでしょうか。

昨今の空き家に関する種々の問題は、大きな社会問題となっています。町では令和6年度より、地域整備課内に新たに住宅政策室を設置し、住宅政策全般に関する業務をおこなっています。空き家問題をはじめとする、住宅に関することについて、気軽にご相談ください。



◆問合せ先／役場地域整備課住宅政策室 ☎87-0882

65歳以上の町民の方へ

飯豊町高齢者元気生活応援商品券を 配布します

高齢者の生活支援と町内消費促進による町内事業者への間接的支援を図ることを目的として、65歳以上の町民の方に飯豊町商工会加盟店舗で利用できる「飯豊町高齢者元気生活応援商品券」を配布します。

◆対象者

令和7年4月1日時点で飯豊町の住民基本台帳に登録されている65歳以上の方
(住民票上の住所が飯豊町となっている方)

◆商品券の支給額

対象者1人につき5,000円(1,000円×5枚)

◆商品券の配布時期／6月上旬

※65歳以上の方のいる世帯に対して、対象者の代表宛てに商品券をお届けします
※お届けは、愛昭運輸㈱が行います。お受け取り時にはサインが必要です

◆商品券の利用期間

6月15日(日)から10月31日(金)



◆注意事項

- ・利用期間の前および利用期間を過ぎた商品券は使用できません
- ・6月15日より前にお手元に商品券が届いた場合も、商品券を使用できるのは6月15日以降となりますのでご注意ください
- ※商品券の配布方法や詳細は、町ホームページをご確認ください

◆問合せ先／町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

高齢者の健康づくり



健

康

講

座



おおむね65歳以上の方はどなたでも参加大歓迎！ 参加は無料です。

参加を希望する場合は、電話でお申し込みください。それぞれの会場において、年2回開催予定の1回目です。

【内容】

- ・握力測定 ・音楽に合わせて手を叩いたり、歌いながら楽しく運動
- ・フレイル（健康と要介護の中間にある状態）予防のための食事のとり方

会 場	日 程	時 間	申込期限
東部地区 まちづくりセンター	7月4日(金)	9:30～11:30	7月1日(火)
中部地区 まちづくりセンター	7月7日(月)		7月4日(金)
白樺地区 まちづくりセンター	7月17日(木)		7月14日(月)
西部地区 まちづくりセンター	7月28日(月)		7月25日(金)
中津川地区 まちづくりセンター	7月31日(木)		7月28日(月)

◆申し込み・問合せ先／町健康福祉課子ども家庭健康室 ☎86-2338



▲ 5月29日に行われた選定証授賞式の様子

米沢×飯豊発！ 米沢牛と地域連携で挑む肉用牛バイオガス発電モデル2.0による脱炭素への道

5月9日、環境省が実施した「脱炭素先行地域」の選考において、飯豊町と米沢市を主たる提案者とする共同提案計画が選定されました。2市町では、今年度から令和12年までの6年間で、肉用牛の牛ふんを使ったバイオガス発電事業・小水力発電事業などを展開します。今後は、連携をさらに深めながら、地域特性を生かした脱炭素の取り組みを進めていきます。嵐町長は「米沢市と連携しながら置賜モデルとして胸を張って全国に出せるような仕組みになるよう尽力したい」と決意を述べました。

全国さくら功労者受賞 手ノ子区協議会 さんさん部会

4月10日、手ノ子区協議会の古川啓治会長とさんさん部会の井上俊一郎部長が役場を訪れ、全国さくら功労者の受賞報告をしました。手ノ子区協議会さんさん部会は手ノ子区協議会の部会として平成22年度に設置されました。手ノ子地区にある八幡山を桜の森にしたいという思いから、15年間の活動で350本の桜を植樹しました。古川会長は「今年は気温差が大きく、雪の量も多かったため桜が心配だった。これからも毎年きれいな桜が咲くように手入れしていきたい」とこれからの抱負を語りました。



井上俊一郎部長 古川啓治会長

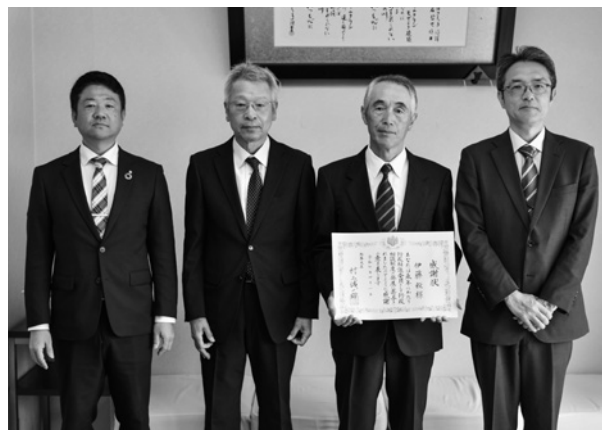


子どもが過ごす場所の環境整備のために寄付 株式会社ロック（中）

4月18日、株式会社ロック渡部隆志代表取締役が役場を訪れ、30万円を町に寄付されました。渡部代表取締役は「町の将来を担う子どもたちのために、町内の学童クラブやこどもみらい館の施設の修繕や備品の購入に活用してほしい」と話し、嵐町長は「温かな支援に感謝申し上げます。子どもたちが放課後などを過ごす場所が快適なものとなるように有効に活用させていただく」と感謝の言葉を伝えました。いただいた寄付金は、学童クラブのエアコン購入とこどもみらい館のエアコン修理費用に活用させていただきます。

退任行政相談員に対する総務大臣感謝状 伊藤毅さん（椿）

5月9日、伊藤毅さんが役場を訪れ、行政相談員の職務退任に係る総務大臣感謝状受領を報告しました。伊藤さんは、平成31年4月に町の行政相談員に就任し、3期6年にわたって行政相談員の業務を遂行。誠実で温厚な人柄を生かしながら、町民の身近な相談者として活躍されました。伊藤さんは「相談することで解決することもある。相談者とともに自分自身も幅広い知識を身につけることができた」と満ち足りた表情で話しました。また、後任の小松雄一さん（椿）へ、自身の経験を生かしたアドバイスと熱いメッセージを送りました。

山形行政監視行政相談センター
小松雄一さん 伊藤毅さん 小野浩司所長

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場企画課DX推進室まで（直通 87-0522）



山形県源流の森オープニングイベント

多彩なプログラムを楽しむ

5月11日、山形県源流の森でオープニングイベントが行われました。町内外から多くの親子連れなどが参加し、鶴岡市立加茂水族館によるクラゲ展示と海ごみワークショップ、きのこの植菌体験などを楽しみました。クラフト体験では、白川湖の水没林のシロヤナギの枝に鉛筆の芯を入れ、絵を描きオリジナル鉛筆を制作。参加者は「手触りがよく気に入った」と笑みを浮かべました。



わくわく広場

物語の世界とクラフト体験を楽しむ



5月17日、こどもみらい館において、わくわく広場が行われ、30名が参加。あ～すまいり～ずによる絵本の読み聞かせや紙芝居では、親子で物語の世界に引き込まれていました。その後、飯豊少年自然の家の方に教わり、木の実や枝などを使って壁飾りを作りました。参加者は「絵本を読んでもらって楽しかった」「枝やどんぐりで顔に見えるように壁飾りを作った」と充実した表情でした。



わくわくこども園幼児部 食育講話

好き嫌いせずご飯を食べよう



5月23日、飯豊わくわくこども園幼児部において、町食生活改善推進員による食育講話が行われました。紙芝居やエプロンシアターによる、バランスのとれた食事についてのお話があり、園児とその保護者は興味津々の様子で聞き入っていました。食生活改善推進員は「健康に過ごせるように、好き嫌いせずご飯をしっかりと食べよう」と話し、子どもたちの健やかな成長を願いました。





人権啓発活動ネットワーク連絡協議会 人権啓発講演会

互いの人権を尊重する行動を

5月15日、飯豊中学校において、(株)ホリプロコム
のハリウリサ氏による人権講演会が行われました。ハ
リウリサ氏は、自身が性的マイノリティーであることを
公表しており、「偏見や差別がない生きやすい社会
の実現に向けて人権を尊重し、人権に配慮した行動を
とることを心がけてほしい」と生徒に熱く
語りました。会場は温かい雰囲気に入れ、生徒は人権について考えを深めました。



水没林マルシェ

旧校舎に再びにぎわいを



5月4日・10日に、旧中津川小中学校において、
水没林マルシェが開催されました。水没林を訪れる方
に、上流地域の中津川をさらに知ってもらいたいと旧
中津川小中学校利活用委員会（鈴木泉委員長）が企画。
ワークショップやクラフト作品販売などが並びました。
来場者は「来るまでの道中でもたくさんの
自然を感じ、中津川を存分に楽しむことが
できた」と話しました。



ゼロカーボン日本酒 新酒発表会

持続可能な社会実現に向けて



5月10日、いいでめざみの里観光物産館において、
町ゼロカーボン日本酒「永遠酔^{とわよい}」の新酒発表会が行わ
れました。農事組合法人沖のカモメが温室効果ガスの
排出を抑えて栽培したつや姫を原料とし、若乃井酒造
(株)が地域再生可能エネルギーを利用し醸造。参加者は
「ほんのりとした甘さで、とても飲みやす
い。料理に合いそうな味だ」と話し、新し
い味を体験しました。



5/27

ママと赤ちゃんのサロン（離乳食
教室）（健康福祉センター）



5/9

かもしかクラブリーダー委嘱状交
付式（役場）



4/26

桜並木ライトアップ
（飯豊中学校旧グラウンド）



Part 1

スタジオ嵐レポート

第13回

4月から始まった「スタジオ嵐」。1回目は2名、2回目は7名と1団体（5名）に来ていただきました。

◆内容

- ・ごみ拾いボランティア用の無料ごみ袋を配布してはどうか
- ・役場1階の窓口が薄暗いので、手元にライトを置いてはどうか
- ・町民が町政にもっと興味関心を持つきっかけをつくるのが大切だ

実際に話をされた方は「町長と直接話せる機会ができてうれしい」「これまで、要望があっても相談する機会がなかった。親身になって解決策を考えてくださるのでとても心強かった」と満足した様子ではほほ笑みました。

◀スタジオ嵐に来ていただいた皆さん（一部）



次回予告！

◆開催日／7月16日(水)

◆時間／10時～17時

◆場所／役場2階町長室

※出張スタジオ嵐も受け付けています

◆その他／個人・団体ともに受け付けていますので、お気軽にお越しください。予約優先です。

問 役場企画課まちづくり室

☎ 87-11182

なぜいま脱炭素（ゼロカーボン）

前回は飯豊町が2030年ゼロカーボン（温室効果ガスの排出量と吸収量の合計が実質ゼロになる状態）達成を実現するため、米沢市と共同で環境省が募集する脱炭素先行地域事業へ申請したところまで説明しました。そしてこのたび、第6回脱炭素先行地域に飯豊町と米沢市が主たる提案者となり策定した共同提案が山形県で初めて選定されました。この共同提案が選定されたことを受け、5月9日、飯豊町長、米沢市長が共同会見を行いました。

この事業は地球温暖化対策として、先進的なモデル地域を選定し、そのモデル地域について2050年を待たずに2030年までにカーボンニュートラルを達成できるように国が重点的に支援を行うものになります。モデル地域の先進的な取り組みを周辺地域さらには県内外へ横展開することで、連鎖的に脱炭素を波及させることを目的としています。国では、少なくとも100カ所の脱炭素先行地域を選定することとしており、今回の選定を含めると全国88カ所の地域が選定されています。

町は今回の選定で持続可能な社会、町づくり、人づくりのため、再生可能エネルギーの活用推進によって、自立した地域として外部電源にばかり頼らない、エネルギーの地産地消、エネルギーコストの内部循環を目指します。また、大きなビジネスチャンスとも捉えられる新たな事業創出、雇用創出を行い「やっぱり、飯豊で幸せになる」と真に言える社会形成の実現を目指していきます。



◆共同会見はこちら↓



◆問合せ先／役場住民課生活環境室

☎ 87-0514

いいで人の力をまちの力に！

（輝く町民にインタビュー）

このコーナーでは、町内外で活躍する町民の方に活動や町への思いをお聞きします。今回は、町商工会女性部の部長として活躍されている味田美代子さん（萩生）を紹介します。

35

人生を通して学び続け

成長し続けていきたい

今回話を伺ったのは、町商工会女性部の一員として25年、そのうち部長として13年活動されている味田美代子さん。

入部したきっかけをこう語ります。「子育てが一段落し、幅広い知識やスキルを習得したいと思い入部しました」。

子育てと自営業を両立していた味田さん。子育てが一段落して入部を決意し、活動で得た知識を仕事にも生かせるのではないかと考えたそうです。

「多分野で活躍する方からの講話や勉強会を通して、幅広い知識を得ることができました。地域振興



味田美代子 さん

Miyoko Mita

や環境改善にもやりがいを感じながら日々の活動を続けています。部員の皆さんと仲良くなれたことも非常に大きな収穫です」。

現在、商工会女性部は21人。めざみの里まつりの売店・研修事業・地域振興事業など、1年間を通して積極的に楽しく活動しているそうです。

令和3年度から、地域振興事業の一環で、お米のPRと消費拡大を目的として米こうじを使用した「商品開発」を行っており、昨年度は飲食店向けの商品開発を行いました。米こうじには、町内産のお米を使用。野菜は地元で採れた食材を使用するなど、随所にこだわりが感じられました。米こうじなどの仕掛け人として知られる（一社）ホールフード協会代表理事タカコ・ナカムラさんからの講話などを通して、半年以上試作を重ねたそうです。

「地元の野菜を活用した商品開発を続け、町の新たな特産品を増やしていきたいです。新商品は部員が経営する飲食店で予約限定で提供しており、米こうじで皆さんに元気になっていただきたいと思います」。

7月号に続きます



協力隊通信

Vol. 63

武田親祐



◆三度目の春

遅い雪解けに気をもみつつ、今年も田植えの時期が始まりました。種子消毒に種まき、育苗に耕運・代かき。除草剤も散布したい肥料もまきたい。田植えの日までの作業が一気に押し寄せます。

例年、作業に慣れたところで作業が終わってしまうため、思い出しながらの日々。まだまだスマホがメモ帳頼りです。

冬が終わると久しぶりの顔合わせ。毎年多くの方々の手を借りており、うれしいと同時に人手の確保に頭を悩ませます。

にぎやかな休憩時間にはみんな「来年はああしよう、こうしよう」と語り合いますが、その都度記録しておかないと遠い記憶の彼方になってしまいます。

協力隊に就任して一年目は豪雨、二年目は猛暑。今年こそ三度目の正直になることを期待しています。



3 すべての人に
健康と福祉を

健康 ikiiki + では、町健康福祉センター（町健康福祉課・町国民健康保険診療所）から、季節ごとに旬な話題をお届けし、町民の皆さんの健康づくりを応援します。



今月の テーマ 熱中症は予防が大切

熱中症発生のピークは7月、8月ですが、近年は異常気象が増えているため、体が暑さに慣れてない6月から注意が必要です。しっかり予防と対策をしておきましょう。



高齢者の熱中症予防

高齢になると、暑さや脱水を感じにくくなり、身体の体温調整機能も低下します。のどが渇いていなくても小まめに水分を補給し（寝る前や1時間ごとにコップ1杯程度）、暑い日は我慢せずにクーラーなどで部屋を涼しくしましょう。



乳幼児の熱中症予防

小さいお子さんは、汗腺の発達や体温調整機能が未熟なため、特に注意が必要です。地面に近いほど、照り返しの影響で気温が高くなるため、小さいお子さんは大人以上に暑い環境にいます。そのため、小まめに水分補給をさせ、体調をよく観察しましょう。また、車の中にお子さんだけを残すことは絶対にしないでください。



◎熱中症予防◎

- ①暑さを避ける！…高温時は、屋外の作業を控えるか、2人以上で声掛けを行いましょう。室内では、エアコンや扇風機で温度を調整しましょう（室温は28度以下）。遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用するのも効果的です。屋外では、日傘や帽子を着用し、日差しの強い日は日陰で小まめに休憩を取りましょう。
- ②小まめに水分を補給する！…室内でも、喉の渇きを感じていなくても、小まめに水分を補給しましょう。1日あたりコップ6杯（約1.2リットル）程度は必要です。普段の生活では水か麦茶で大丈夫ですが、外仕事や運動で大量に汗をかいたときは塩分も補給しましょう。
- ③体の蓄熱を避ける！…保冷剤や氷、冷たいタオルなどで体を冷やす、吸湿性・速乾性のある通気性の良い衣類を着用するなど、熱が体に溜まらないようにしましょう。

熱中症の症状と応急措置

重症度Ⅰ度

- ・めまい、立ちくらみ
- ・筋肉痛、こむら返り
- ・手足のしびれ

重症度Ⅱ度

- ・頭痛
- ・気分不快、吐き気、嘔吐
- ・体に力が入らない、だるい

重症度Ⅲ度

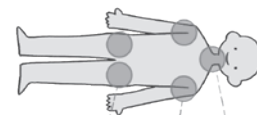
- ・意識がない
- ・呼びかけに反応するが返事がおかしい
- ・けいれん
- ・手足の運動障がい（まっすぐ歩けないなど）
- ・体が異常に熱い



軽症

重症

- ・エアコンが効いている室内や日陰など涼しい場所へ移動しましょう
- ・水分、塩分、経口補水液などを補給しましょう
- ・衣服をゆるめ、体を冷やして体温を下げましょう（首の周り、脇の下、足のつけ根前面を冷やすと効果的です）



足のつけ根 脇の下 首の周り

- ・意識がもうろうとしている、返答がおかしい、自力で水が飲めない（吐き気がある、吐いた）などの症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください
- ※意識がはっきりしていない時に、無理に飲み物を飲ませるのは危険です

◆問合せ先／町健康福祉課子ども家庭健康室 ☎86-2338

子育てFILE

こどもみらい館の予定表
(6月の日程)

- 6月10日(火) 10:00 ～ママと赤ちゃんのサロン
11日(水) 10:15 ～かんがるー広場
14日(土) 10:15 ～かんがるー広場
18日(水) 10:15 ～かんがるー広場
21日(土) 10:15 ～かんがるー広場
おはなし広場
24日(火) 10:00 ～ママと赤ちゃんのサロン
28日(土) 10:15 ～かんがるー広場

早いもので、カエルのにぎやかな声が聞かれるようになりました。今月のかんがるー広場では、11日・14日に父の日のプレゼント、18日・21日にてるてる坊主とカタツムリ、28日に七夕飾りを作ります。ぜひ皆さんご参加ください。

●子育て支援センター（こどもみらい館） ☎74-2305
開館日／月曜日から土曜日 休館日／日曜日、祝日
利用時間／9：30～16：30



たなか まこと ちゃん



よこさわ まつり ちゃん

町内に在住の方で、小学校入学前のお子さんの写真掲載を希望される方は、メール(iide-info@town.iide.yamagata.jp)に名前・性別を記入して送付ください。

●問合せ先
役場企画課DX推進室
☎87-0522



7月の保健



◆問合せ先

町健康福祉課子ども家庭健康室 ☎86-2338
令和7年度の日程はこちら→



乳幼児健診

◎4カ月児・9カ月児健診

- ◆日程／7月25日(金) ◆受付／13:00～13:15
◆対象者／4カ月児：令和7年1月～3月生まれ
9カ月児：令和6年9月～10月生まれ

◆場所／健康福祉センター

※対象者には、約1カ月前に健診の案内を郵送します

◎5歳児健診（今年度から始めます）

- ◆日程／7月23日(水) ◆受付／13:00～13:15
◆対象者／令和2年4月～6月生まれ
◆場所／健康福祉センター

※対象者には、約1カ月前に健診の案内を郵送します

ママと赤ちゃんのサロン

助産師が同席する、1歳ごろまでの赤ちゃんともママの交流の場です。体重測定や授乳・育児相談もできますので、ぜひ気軽にご参加ください。

◆日程

7月 8日(火) 卒乳講座
22日(火)

◆時間／10:00～11:30

◆場所／こどもみらい館

※自由参加、参加費無料



ひとり親家庭就業支援巡回相談

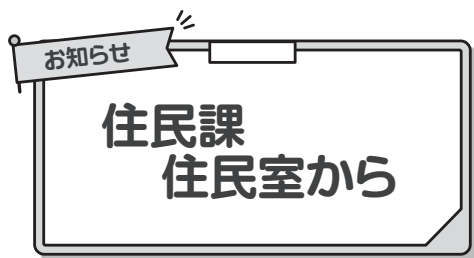
山形県母子寡婦福祉連合会の就業支援相談員が、ひとり親家庭の方の就業相談などに応じます。

◆日程／6月18日(水)、7月23日(水)、8月20日(水)、
9月17日(水)、10月22日(水)、11月19日(水)、12
月17日(水)、令和8年1月21日(水)、2月18日(水)、
3月18日(水)

◆時間／9:30～12:00

◆場所／マザーズジョブサポート山形（山形市）

◆問合せ先／山形県ひとり親家庭就業・自立支援
センター ☎023-632-2296



手続きをお忘れなく！

身・親医療証の更新のお知らせ

現在、「重度心身障がい(児)者医療証」および「ひとり親家庭等医療証」をお持ちの方は、有効期限が6月30日になっています。以前申請された方について再判定後、該当者には事前に通知しますので、下記のいずれかの会場で更新手続きを行ってください。なお、持ち物については事前に送付する通知書をご覧ください。

期 日	時 間	会 場
6月24日(火)	10:00～11:00	ひまわり館
	13:00～14:30	西部地区まちづくりセンター
6月25日(水)	9:30～11:30	東部地区まちづくりセンター
	13:30～15:00	町民総合センター「あ～す」
6月26日(木)	9:30～10:30	中部地区まちづくりセンター (中地区の方)
	10:30～12:00	中部地区まちづくりセンター (黒沢地区の方)
	13:30～15:00	中部地区まちづくりセンター (萩生地区の方)

会場内の混雑を避けるため、対象地区の時間帯にお手続きくださいますようお願いいたします。

6月24日(火)、25日(水)、26日(木)は、役場での医療証更新はできませんのでご了承ください。

上記の日程で都合の合わない方は、6月27日(金)以降に、役場住民課住民室での手続きとなります。

※役場住民課では、毎週月・金曜日に窓口の延長を実施しています。当日の13時までに申し込みをすることで、18時30分まで受付が可能です

◎ひとり親家庭等医療について、未婚のひとり親家庭の方も対象になる場合があります。お問い合わせください

◆問合せ先／役場住民課住民室 ☎87-0511

国民健康保険診療所 7月の診療予定・担当医師



◆国民健康保険診療所 (椿) ☎72-2300

	月	火	水	木	金	土	日
		1日	2日	3日	4日	5日	6日
午前		高木	総合診療科 医師		高木		
午後		高木			高木		
	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
午前	高木	高木	総合診療科 医師		高木		
午後	高木	高木			高木		
	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
午前	高木	高木	総合診療科 医師		高木		
午後	高木	高木			高木		
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
午前	(祝日)	高木	総合診療科 医師		高木		
午後		高木			高木		
	28日	29日	30日	31日			
午前	高木	高木	総合診療科 医師				
午後	高木	高木					

○水曜日の午後・木曜日は休診です

○小児の予防接種は、月・火・金曜日の午後4時から行います。ワクチン手配の都合上、事前に予約してください

【受付時間】 午前 8:30～11:30 午後 1:30～4:00

◆附属中津川診療所 ☎77-2330

	月	火	水	木	金	土	日
		1日	2日	3日	4日	5日	6日
午前			豊野		豊野		
午後							
	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
午前	伊藤		豊野		豊野		
午後							
	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
午前	伊藤		豊野		豊野		
午後							
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
午前	(祝日)		豊野		豊野		
午後							
	28日	29日	30日	31日			
午前	伊藤		豊野				
午後							

○診療日は月・水・金曜日の午前です

○小児・高齢者の予防接種は、ワクチン手配の都合上、事前に予約してください

【受付時間】 午前 8:30～11:30



できることから
始めよう

地域での 支え合い・助け合い

地域支え合い推進員通信 第38回

3 すべての人に
健康と福祉を



認知症になっても安心して暮らせる町づくり

認知症になっても、安らぎと喜びを感じられる人とのつながりが保たれ、認知症がある人の暮らしを支える取り組みがあれば、安心して暮らしていけます。そのためには、認知症に対する正しい理解を地域全体に広めていくことが大切です。

【認知機能障害のために起きる症状】

- ・新しく物事を覚えることや、最近のことを思い出すことが苦手になる（記憶障害）
- ・考えるスピードがゆっくりになる。家電やATMなどの使い方がわからなくなる（理解・判断力の障害）
- ・日付や曜日がわからなくなる、知っている人がわからなくなる（見当識障害）。などがあります

認知症の人の心の中には不安でいっぱいですが、自分に起こるさまざまな変化に不安を抱えながらも、自分らしく尊厳をもって暮らしたいと願っています。

認知症の人と接するときは、

- ・まずは見守る（声かけは必要に応じて）
- ・相手のペースを守る（急かさない）
- ・余裕をもって対応する（自然な笑顔）
- ・やさしい口調で話す

などを意識してみましょう。

本人が安心して暮らせる環境を地域全体で整えていくことが何よりも大切です。



◆問合せ先／（社福）飯豊町社会福祉協議会 ☎72-3353
町健康福祉課福祉室 ☎86-2233



町民川柳



— お題／「衣」または自由題 —

3 すべての人に
健康と福祉を



- | | | | | |
|--|---------------------------------|---------------------|-----|-----------|
| ◆提出・問合せ先／役場企画課DX推進室 ☎87-0522 FAX 72-3827 | ◆お題／「空」または自由題 | 関税が デイルが 世界をかけめぐる | 小白川 | 山口 廣美 |
| ◆応募方法／掲載号の前月の第3木曜日までに、未発表の自作の川柳と住所、電話番号、氏名（または雅号）を明記のうえ、はがきまたはFAXで応募してください | 作品を募集しています。毎号先着20名（1人1作品）を掲載します | 五十路過ぎ 脂肪と疲労に 取り付かれ | 小白川 | 若い衆（雅号） |
| | | 寒暖差 衣替えも 日に三度 | 黒沢 | 菅野 静子 |
| | | ゆり園と 山から流れる 萩生川 | 黒沢 | 長谷川 清 |
| | | 衣替え 心も新たに 社会人 | 中 | 長岡 秀雄 |
| | | 春雷の 若草もゆる 更衣え | 萩生 | エビス屋（雅号） |
| | | 衣食住 足りて至福の 輪に浸る | 椿 | 安部 洋一 |
| | | 祝い酒 乾杯前に のむ主人 | 椿 | 樋口 友理 |
| | | 大そうじ 昔なつかしい 記念品 | 椿 | 長沼 シゲ |
| | | 記念日を 忘れた妻は 認知症 | 椿 | 加藤 秀夫 |
| | | この答え ちよっとおまけで まるを記す | 椿 | 樋口 哲典 |
| | | 元日に 立てた目標 何だっけ？ | 椿 | 伊藤 美代子 |
| | | くたびれた 背広に記憶 しみついて | 椿 | 佐野 和市 |
| | | サギ事件 新聞記事を 解説し | 椿 | 土田 達雄 |
| | | 記念する事 あれこれあった 亡夫との | 椿 | 長沼 サツコ |
| | | また出たの？ 限界知らずの 新記録 | 椿 | 山口 照美 |
| | | 自由人 風の糸切れ どこへやら | 椿 | 渡部 孝子 |
| | | 年末に 悪戦苦闘 投句ムズ | 椿 | 長沼 千代子 |
| | | 家族の愛 余生至福の 自由席 | 椿 | 伊藤 綾女（雅号） |
| | | 修羅の道 磨いた技は ゆるがない | 椿 | 住吉 吉郎 |
| | | コノ財布 底がないのか すぐモレル | 椿 | 北原 実 |

あ〜す発信局

4 質の高い教育を
みんなに



夏至・音楽の祭典「フェット・ド・ラ・ミュージック2025」を開催します

音楽からのまちづくりをコンセプトに、誰もが気軽に音楽に触れ親しむことを目的として、「フェット・ド・ラ・ミュージック」を実施します。

当日はあ〜す内「ホワイエ」をカフェとして開放します。軽食、ドリンクなどと一緒にゆったり音楽をお楽しみください。

飛び入りでの演奏や発表なども大歓迎です。みなさまのご来場をお待ちしております。

◆日時／6月21日(土)10:00～15:00

◆会場

町民総合センター「あ〜す」多目的ホール

◆内容／さまざまな楽器をホール内に展示しますので、自由に触れて、演奏して、音楽をお楽しみください

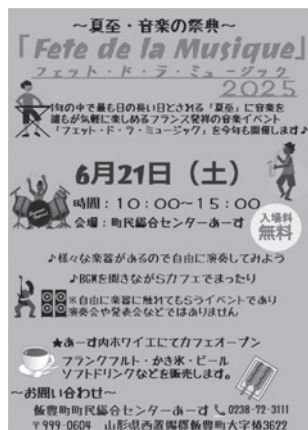
◆対象／どなたでも

◆入場料／無料

◆問合せ先

町民総合センター
「あ〜す」

☎72-3111



「あ〜す」図書室

- 開館時間／(火)～(日) 9:00～17:00
(9月末までは、日曜を除き19:00まで開館)
- 休館日／毎週月曜日、祝日、年末年始
- 問合せ先／☎72-3111

第2回わくわく広場を開催します

親子で一緒に楽しめるこの機会をぜひお見逃しなく！

◆日時／7月12日(土)10:00～11:30

◆会場／町民総合センター「あ〜す」研修室

◆対象／幼児から小学生までの児童および保護者(15組限定)

◆内容／楽しい紙芝居とミニ工作のイベントを開催します。ミニ工作の時間では、自分だけのオリジナルバッグを作ります！

◆参加費／無料

◆申し込み・問合せ先

町民総合センター

「あ〜す」図書室 ☎72-3111



新 着 図 書



口外禁止

下村 敦史／著
出版／実業之日本社

着物と帯のリメイク
出版／ブティック社



今月のおすすめの本

一般図書



春立つ風
〔「弥勒」シリーズ13〕

あさの あつこ／著 出版／光文社

油屋「出羽屋」の離れで放蕩息子・一郎太が喉を突き、自ら命を絶った。ただの自死ではないようで、主の忠左衛門と後添えのお栄に、同心・木暮信次郎は話を聞くが…。

児童図書



ライオンのくにのネズミ

さかとく み雪／作 出版／中央公論新社

ライオンのくにに引っ越したネズミの家族。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らは、お互いにわかりあうことができるのか？「優しさと勇気」についての絵本としても、「国際理解教育」の教材としても読める一冊。

新 着 児 童 書



はるのおばけずかん

斉藤 洋／作
宮本 えつよし／絵
出版／講談社

ピカチュウとうみの
たからさがし
まつお りかこ／作
出版／小学館



◆◆◆ 今月の展示コーナー ◆◆◆

梅雨の季節です。カエルやカタツムリといった雨の好きな生き物たちの本や梅雨を快適に過ごせる本など雨に関する本を紹介いたします。



ハローワーク 飯豊町求人情報

飯豊町内のハローワークの求人情報を掲載します。

◇令和7年4月3日以降に登録された令和7年5月20日現在の町内求人情報を掲載しています。雇用の状況により、募集が停止されている場合があります。

◇事業所によっては複数の職種の募集がありますが、掲載枠の関係上、一部省略しています。

◇雇用形態は、正＝正規社員、パ＝パート労働者、派＝雇用派遣労働者で表記しています。

◇詳しくは、ハローワーク長井にお問い合わせください。

◆問合せ先

ハローワーク長井 ☎84-8609

役場商工観光課産業連携室 ☎87-0569



事業所名	職 種	雇用形態
(株)飯豊町地域振興公社 自然の家事業部	施設管理業務・厨房業務手伝い	パ
(株)レベック	機械工（NC旋盤）／経験者、機械工（MC）経験者	正
(有)渡部製材所	一般事務、木材加工スタッフ／資材配達【未経験者も大歓迎】	正
(株)小松商事	中型ローリー車ドライバー（藤島営業所）	正
東北警備保障(株)	施設警備員『受付・巡回業務／交替』	正
(株)日本ワークプレイス山形支店	筆記用具の製造（座り作業／飯豊町）	派
ふじかわ農園	農作業員（野菜）	パ
(株)フォーラムエンジニアリング 仙台フォーラム	車両部品製造に関する生産技術業務	派
(株)ニッコトラスト郡山営業所	調理補助	パ
社会福祉法人いいでめざみの里福祉会	調理補助／オープニングスタッフ／15:00～19:00、7:00～11:00	パ
(有)菊地工業	運転手（10tドライバー）	正
(株)佐藤鉄筋	加工および運搬作業員	正
まちづくりきらりいいで (株)神乃湯ホテル	洋食調理人	正
(株)佐藤管工業	土木施工管理技士および配管工【未経験者応募歓迎】、一般土木作業員【未経験者応募歓迎】	正
樋口建設(株)	土木施工管理技士、土木作業員（土木、建築施工管理技士候補）、建築施工管理技士（建築技士）	正
小文次ファーム長岡悠平	作業員【60歳以上の方も応募歓迎】	パ
(株)デンソー山形	品質保証、設備保全、技能職	正
(株)バーンフュージョン	車載部品の製造・物流業務2交替	派
(株)田中屋	食肉加工、販売員	正
(有)ヤマデン	電気工事士（見習可）	正
(有)どんでん平ゆり園	ゆりまつりアルバイト	パ
(株)ホリエHOTEL SLOW VILLAGE	ホテル運営スタッフ、ホテル客室清掃係	パ

住民課生活環境室から

大型ごみを回収します



町では年に1回、ふとんや家具、自転車など普段のごみ回収に出すことができない大型ごみの回収を行っています。申し込み方法などは以下のとおりです。

◆受付期間と回収日

①椿、松原、小白川、手ノ子、高峰、中津川地区

・受付期間／6月9日(月)～20日(金)

・回収日／7月3日(木)・4日(金)

②中、萩生、黒沢、添川地区

・受付期間／6月16日(月)～27日(金)

・回収日／7月10日(木)・11日(金)

◆料金・支払方法

料金は品目によって異なります。金額は申し込みの際にご確認ください。後日、料金や回収日を記載したはがきを送付しますので、料金分の粗大ごみ用証紙を購入し、処分する物に貼付して回収日当日に出してく

ださい。

【注意事項】

次のようなものは法律の定めなどによりクリーンセンターで回収することができません。

・テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機、エアコン
→家電リサイクル法の対象品目ですので、お買い上げの店舗などにお問い合わせください

・農機具、農業用ビニール、農業用資材、建築資材など
→産業廃棄物ですので、販売業者などにお問い合わせください

・ガスボンベ、消火器、タイヤ、バッテリー
→お買い上げの店舗などにお問い合わせください



◆問合せ先／役場住民課生活環境室 ☎87-0514

第37回 いいで黒べこ祭りを開催します

米沢牛
150周年

最高級の飯豊産米沢牛を味わえる「いいで黒べこ祭り」を今年も開催します。
皆さんのお越しをお待ちしています。

- ◆日時／7月13日(日)11:00～14:00※小雨決行
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」駐車場
※例年と場所が異なりますので、ご注意ください
- ◆チケット／ファミリーセット（4名分）15,000円
- ◆内容／焼肉用飯豊産米沢牛（1kg）、野菜セット、
飯豊産米おにぎり
※飲み物はセットに付きませんので、会場内の販売ブースをご利用ください
- ◆販売枚数／144セット（当日券の販売はなし）
- ◆販売日／6月16日(月)※売り切れ次第終了
- ◆販売所（4店舗）
 - ・JA山形おきたま飯豊支店 ☎72-2121
 - ・町観光協会 ☎86-2411
 - ・めざみの里観光物産館 ☎86-3939
 - ・SHINセルカ ☎86-3368

- ◆購入方法／チケットは、直接チケット販売所で
購入してください。（電話での予約注文は受け
付けていません）
※販売所ごとにチケットの販売数に限りがあります
- ◆その他／当日はお楽しみ抽選会や米沢牛などの
販売ブースもあります
当日は、飲み物の持ち込みはご遠慮ください
（会場内の販売ブースをご利用ください）



▲昨年の様子

問 役場農林振興課農業振興室 ☎87-0525



園芸作物などを生産する事業に助成します

(1)飯豊町園芸作物産地化 推進支援事業費補助金

次の(ア)～(ウ)の事業に要する経費について、
上限10万円で助成します。

(ア) アスパラガス産地拡大推進事業

販売目的で生産する場合の苗・種子、堆肥の購入、
排水対策などに要する一部経費を助成します。

◆補助金の額

- ①苗・種子購入／購入費の2分の1（上限）
- ②堆肥購入／有機肥料散布1kgあたり3円ま
たは10aあたり30,000円のいずれか低い額
- ③排水対策／事業費の2分の1（上限）

(イ) 果樹生産振興事業

販売目的で生産する場合の苗木、資材の購入に
要する一部経費を助成します。

◆補助金の額

- ①苗・種子購入／購入費の2分の1（上限）
- ②資材購入／購入費の2分の1（上限）

(ウ) 奨励作物土づくり推進事業

販売目的で生産する場合、町有機肥料センター
で生産される有機肥料散布に要する一部経費を助
成します。

- ◆補助金の額／有機肥料散布1kgあたり3円の額
（10aあたり9,000円上限）

(2)飯豊町6次産業化推進 支援事業費補助金

農業者が農産物を加工・販売することや商工業
者や観光、サービス業者と連携した取り組み（6
次産業化）を助成します。

◆補助金の額

- ①加工品の開発や改良、販売などに要する経費
- ②加工品の開発や改良、販売などの調査に要する
経費
- ③加工品の開発や改良に必要な機械装置などの購
入または当該年度のレンタルに要する経費
※①～③の合計額の50%以内の額（上限20万円）
- ④加工品開発のための研修、その他人材養成に要
する経費／事業費の2分の1（上限5万円）

◆申請方法

- ①(1)、(2)の事業に申請する場合、交付申請書の提出
が必要です。事前に担当まで必ず相談ください
- ②6月30日まで提出のあった交付申請書に基づ
き予算を配分します。予算の残額に応じて、7
月1日以降に随時交付申請書を受け付けます

申・問 役場農林振興課農業振興室 ☎87-0525

飯豊町役場

TEL 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



町HP



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区まちづくりセンター	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区まちづくりセンター	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区まちづくりセンター	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区まちづくりセンター	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
付属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区まちづくりセンター	☎72-2242		

【事前調査票】

◆提出期限／6月30日(月)

◆提出先

役場商工観光課産業連携室

【集合検査】はかりの持ち込み検査

◆日時／8月4日(月)10:30～15:00

◆場所

中部地区まちづくりセンター

☎ 役場商工観光課産業連携室

☎87-0569



奨学金返還支援事業

大学などを卒業後に飯豊町に住みながら県内で働く予定の方・県外から飯豊町に移住して働く方を対象に、返還する奨学金の一部を県と町が助成する制度です。

◆申込期限

やまがた若者定着枠：6月30日(月)

Uターン推進枠：8月29日(金)

申・問 役場企画課総合政策室

☎87-0521



されたもの

③町内で製造・加工などの主要な部分が行われ、付加価値が生じているもの

④返礼品として提供されるサービスの主要な部分が町と関連するものであること など

◆その他／今年度から品目によって返礼システムが変更となるものがあります

申・問 役場商工観光課産業連携室

☎87-0569

「はかり」定期検査のお知らせ

取引や証明に使用する「はかり」は2年に1回定期検査を受ける義務があり、今年度は定期検査の年です。前回の検査実績をもとに、対象事業者には書類を送付しています。検査対象の「はかり」をお持ちの事業者は、必ず事前調査票をご提出のうえ受検してください。

▼ 町からの
▼ ご案内

ふるさと納税事業者募集

ふるさと納税制度を活用した地元特産品PR、販売促進および地域産業の活性化を図るため、ふるさと納税により寄付を受けた方に対して返礼品として贈呈する商品やサービスなどを提供していただける事業者を募集しています。

◆事業者の要件／町内に本社または主たる事業所（工場などを含む）を有する法人または個人

◆返礼品の基準

①町内で製造、加工、採取もしくは栽培などを行っている商品または地元事業者が行うサービス

②町内で原材料の主要な部分が生産

町民プール利用のご案内



町民プールは子どもから大人まで利用できる無料の施設です。今年の開放は下記のとおりです。皆様のご利用をお待ちしています。



◆所在地／大字小白川173番地1

(第二小学校体育館隣)

◆期間／6月21日(出)～8月31日(日)

※8月13日(水)は休み

◆利用時間 (12:00～13:00は昼休みです)

平日	9:00～15:30	学校利用
	15:30～17:30	一般開放
土日祝	9:00～17:30	一般開放

※学校夏休み期間中／7月28日(月)～8月19日(火)は9:00～17:30まで一般開放します。ただし、学校利用のあるときは、コース分けします

◆留意点

- ・プールに入るときは水泳帽子が必要です
- ・利用のきまりを守り、監視員の指示にしたがってください
- ・気象状況などによって利用できない場合があります

◆問合せ先

町社会教育課生涯学習振興室 ☎72-3111

または町民プール監視員室 ☎72-3581

- ◆申込方法／二次元コードから一覧表を確認し、希望する講座を選び希望日の3週間前までに申込書を提出

申・問 置賜総合支庁各課・総務課 ☎0238-26-6000 (代表)

河川の伐採木 無償提供

河川の伐採木を無償提供します。詳細は、西置賜河川砂防課に設置しているチラシまたは西置賜河川砂防課のホームページをご覧ください。なお、営利目的や転売などを目的とする方への提供はできません。

- ◆期間／6月27日(金)～29日(日)

提供物が無くなり次第終了

- ◆時間／9:00～16:00

- ◆場所／飯豊町添川地内(置賜白川飯豊橋下流東側の河川敷)

- ◆対象者／自ら積み込み運搬できる方

- ◆樹種／ニセアカシアなど

- ◆申込方法／チラシ裏面の申込書に記入し、当日持参してください。また、当日現地での記入も可

- ◆注意事項／積み込みスペースを確保するために、大型車両での積み込みはお控えください

申・問 置賜総合支庁西置賜河川砂防課 ☎88-8233

狩猟免許試験を 実施します

- ◆場所／置賜総合支庁
◆日程／8月23日(土)
◆受付期間／7月7日(月)～22日(火)

申・問 山形県みどり自然課 ☎023-630-3404

狩猟免許取得希望者 講習会

- ◆場所／南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)

- ◆日時／7月5日(土)9:00～16:30

- ◆受付期限／6月25日(火)

申・問 (一社)山形県猟友会 ☎023-665-0382

公立置賜総合病院 職員採用試験

- ◆募集職種／行政職(上級)
◆採用予定人員／若干名
◆受験資格／次のいずれかを満たす者
・平成8年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者
・平成15年4月2日以降に生まれた者で、大学(短期大学を除く)を卒業した者または令和8年3月31日までに卒業見込みの者
◆採用予定日／令和8年4月1日
◆試験期日／7月13日(日)
◆試験会場／公立置賜総合病院
◆受付期限／7月2日(火) 必着
◆試験案内／公立置賜総合病院総務課で配布。ホームページからも印刷可

申・問 公立置賜総合病院総務課 ☎0238-46-5000

▼お知らせ

いいで未来カフェ ごみ拾いに参加しませんか

毎月第3日曜日に町内のごみ拾いを行います。どなたでも参加可能で参加費・申し込み不要です。皆さんで楽しくごみ拾いをしましょう。

- ◆日時／6月15日(日)9:00～

- ◆集合場所／西部地区まちづくりセンター

問 いいで未来カフェ Instagram

置賜総合支庁職員出前講座 県政ナビ

くらしや健康・環境問題など、身近な話題から県が重点的に取り組んでいる各種施策まで、職員が直接皆さんの集いや学習会に伺い説明します。

- ◆対象／地域の方が参加する集

※営利目的や政治・宗教に関する集会などは対象外

- ◆所要時間／45分～1時間30分

飯豊連峰山形県側 2町合同山開き

- ◆日程／7月5日(土)15:30～受付16:30～山開き式典

7月6日(日)

登山(コースに分かれます)

Aコース(石転び沢出合)

Bコース(倉山山)

- ◆式典会場／飯豊梅花皮荘(小国町)

- ◆申込方法／やまがたアルカディア観光局WEBサイトもしくは電話で申し込み

- ◆申込締切／6月20日(金)

問 役場商工観光課観光交流室 ☎87-0523

もの忘れ相談会

もの忘れや、認知症(若年性認知症を含む)のことで悩んでいませんか。町初期集中支援チームの認知症専門医師と精神保健福祉士がお話を伺います。相談は無料、予約制です。

- ◆実施日／7月24日(木)、10月23日(木)、令和8年2月26日(木)

- ◆相談時間／14:00～15:00(一人30分程度)

- ◆実施場所／健康福祉センター

- ◆申込方法／実施月の1日まで下記へお電話ください

申・問 町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

▼募集

山形県警察官募集 (警察官B区分)

- ◆受験資格／18歳以上36歳未満で警察官A区分の受験資格に該当しない者

- ◆受付期間

7月11日(金)～8月25日(月)

- ◆第1次試験日／9月21日(日)

※詳しくは県職員採用案内ホームページを確認

問 長井警察署 ☎84-0110

戸籍の窓

(4・5月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
椿	後藤 一稀くん	瑞貴 垂希

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
添 川 東 山	山本ツナ子 さん	84
下屋地	高橋 一 浩 さん	77
添 川 東 山	横澤市郎 さん	89
中	新田那須 功 さん	81
添 川 上 代	小山あき さん	89
小白川十文字	山口味代子 さん	92

※この欄に掲載を望まない場合は届け出の際に申し出てください

人の動き

【4月分】		() 内は対前月比		
世帯数		2,288 (5)	転入	18
人	男	3,029 (- 9)	転出	21
	女	3,110 (- 3)	出生	2
□	計	6,139 (-12)	死亡	11

最近暖かい日が多くなり、山や畑の緑が映える季節になりました。休日の暖かい日は、好きなものを盛り合わせた朝食を作り、ベランダで食べるのが毎年の楽しみです。夏のこの季節にしかできないので、特別な休日をごすごすごとができます。

(あやか)



【お詫びと訂正】

5月号の記載内容に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正します。

【12ページ】

鈴木寛幸さん受賞コンクール名
「令和6年度やまがた温暖化対応米
づくり日本一運動食味コンクール」

【12～13ページ】

◆白樺地区公民館新春川柳大会

【低学年の部】 全て二小

天位 遠藤律 地位 高岡優依
人位 菊地柚芽 五客 土田鈴、
五十嵐瑛大、鈴木陸、山口結乃、
菅野可純

【高学年の部】 全て二小

天位 川崎結菜 地位 樋口果子
人位 高橋叶夢 五客 佐原舞珂
土田絢澄、菊地陽蘭、渡部紅龍、
高橋空真

【13ページ】

添川小学校へのボランティア

◎放課後子ども教室

梅津智子さん、遠藤とも子さん、
須貝喜代子さん

相談日のお知らせ

★7月の相談・日程

・行政相談／7月9日(水)
・無料法律相談(要予約)
7月25日(金)

★時間／13:00～15:00

★会場／町民総合センター「あ
～す」2階会議室

申・問 役場住民課生活環境室
☎87-0514

6月の納税情報

★税／住民税

★納期限／6月30日(月)

問 役場税務会計課税務室
☎87-0512・87-0513

次号発行日

7月3日(木)

令和7年度
「山形学」講座

◆テーマ／おもしろ農楽～たのしい・おもしろい山形農業～

◆日程／7月19日(土)、8月31日(日)、
9月13日(土)、9月27日(土)、10月
26日(日) 全5回

◆場所／遊学館(山形市) 他

◆受講料／4,000円(学生2,000円) 他

◆定員／50名(応募多数の場合抽選)

◆申込方法／氏名、郵便番号、住所、
年齢、連絡先電話番号、メールア
ドレス、託児の有無を明
記し、申込フォーム、メー
ル、FAXで申し込み



◆申込期限／6月24日(火)13時必着

申・問 山形県生涯学習センター「山
形学」講座担当 ☎023-625-
6411 FAX023-625-6415
✉yama@gakushubunka.jp

ピア・サポーター
養成講座受講者募集

がん治療の経験を生かし、ピア(仲
間)として、がん患者さんやそのご
家族をサポートしてみませんか。

◆日時／7月13日(日)9:30～16:00

◆場所／南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)

◆対象者／がん経験者とそのご家族

◆定員／先着10名程度

◆費用／無料

申・問 やまがた健康推進
機構 ☎023-688-6511

福祉・介護のお仕事
ミニセミナー◆日時／6月19日(土)、9月18日(土)、
12月18日(土)9:30～10:00

◆場所／ハローワーク長井

◆内容／福祉・介護施設の種類や職
種、資格、近年の福祉業界の状況

◆対象者／福祉・介護の現場への就労
を考えている介護の資格保有者など
※終了後、福祉のしごと出張相談会開催

10:00～12:00、13:00～15:00

申・問 山形県福祉人材センター
☎023-633-7739

<第3回>

関係性の領域を広げること

～地域づくりのファーストステップ～



自分たちの地域のことは、住んでいる自分たちが一番よく知っているはず。地域の中にどんな人がいるか、どんな場所があるか、どんな活動がされているか、程度の差はあるものの、皆さんご存じだと思います。

ところが、地域のことは自分に関わりがないこと、あまり立ち入るべきではないと考えていませんか。多くの人は地域にどこか無関心で、行政や福祉関係者、もしくは地区の役員など責任ある人が携われれば良いと考える人もいるのではないのでしょうか。どこかの誰かが差し伸べてくれるか分からない助けをじっと待つよりも、「自分たちの地域のことは、自分たちで考え、話し合い、自分たちでできることを実践する」ことが本当の意味で自立した地域と言えます。

その際のファーストステップとして重要なのが、自分の関係性の領域を広げていくことです。個人や家族だけでなく、その外側の地域や友人、さらには町や社会についても自分に関係があることとして、社会的関係性の領域を広げる「自分ごと化」の視点が大切です。

これは生き方や価値観についても言えることで、短い時間軸・狭い関係性・短絡的な豊かさだけを重視すれば「今だけ・金だけ・自分だけ」という価値観に陥ってしまいます。

地域で生きる私たちには、他者の思いや感情に寄り添い、それぞれの立場や考えを理解することが大切です。また、これからの地域づくりには、私たちが自分ごととして取り組む姿勢を育み、自分の関係性の領域を広げていくことが求められています。



◆問合せ先／役場企画課まちづくり室 ☎87-1182

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



飯豊町では、SDGs 未来都市の選定を受けています。SDGs をより身近に感じていただくために、各記事に関連する目標のアイコンを付けています。



飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

「日本で最も美しい村」連合は今年で設立 20 周年を迎えます。

今月の表紙

▼ゲストランナーと入賞を喜ぶ様子



▲勢いよくスタートする選手たち

5月25日、白川ダム湖岸公園周辺をコースに、第43回白川ダム湖畔マラソン大会が行われました。選手たちは残雪が山肌を覆う中、自己ベストを目指して力走しました。